

令和8年産 美里地区の稲作情報

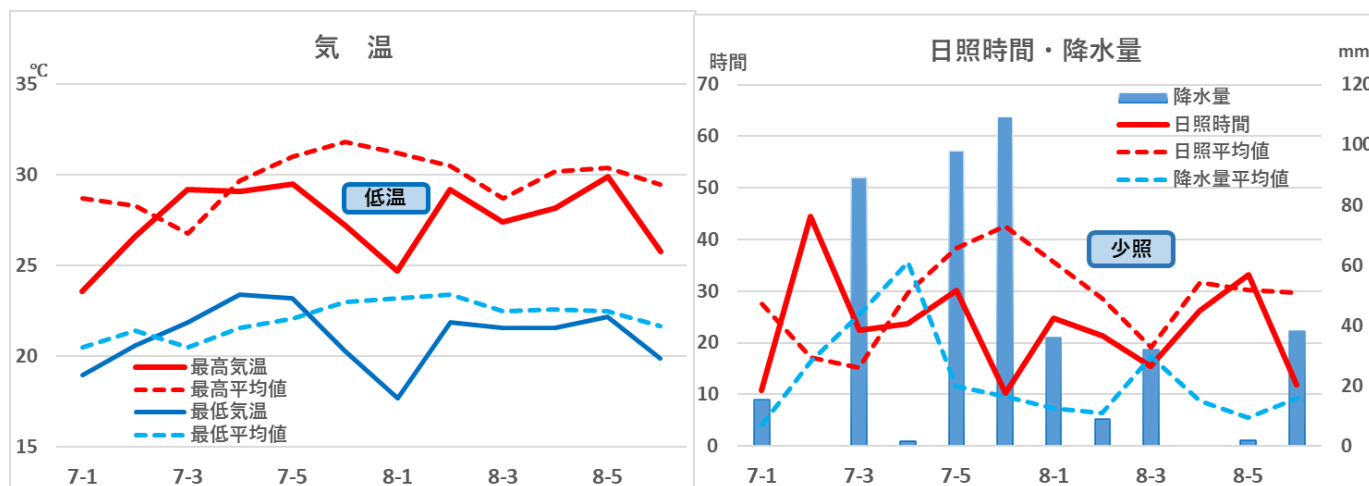
宮城県美里農業改良普及センター 第7号 令和8年9月3日発行

TEL:0229-32-3115

<https://www.pref.miyagi.jp/site/misato-index/>



1. 気象経過(7月～8月まで、アメダス鹿島台)



・7月下旬から8月にかけて、過去5年平均よりも気温が低く、日照時間の少ない状況が続いています。

2. 管内水稻の概況

表 1 管内の出穂状況

		始期 (5%出穂)	出穂期 (50%出穂)	穂揃期 (95%出穂)
管内	本年	7/25	7/31	8/14
	前年	7/25	7/29	8/5
	平年	7/25	7/30	8/6
県全体	本年	7/26	8/1	8/14
	前年	7/25	7/30	8/6
	平年	7/28	8/1	8/9

- ・管内の出穂期は概ね平年並みの7月31日となりました。県全体も平年並の出穂期となっています。
- ・8月の低温の影響により、直播や晩生品種の出穂は平年よりも遅くなりました。
- ・管内の穂揃期は前年より9日遅い8月14日でした。

※管内および県全体の平年値は過去5か年の平均値。

表 2 県生育調査ほひとめぼれの調査結果

調査地点		品種	区分	田植 (播種)日	出穂日	穂揃期						出穂後25日調査結果			
						葉色 (SPAD値)	稈長 (cm)	穂長 (cm)	穂数 (本/㎡)	一穂粒数 (粒)	籾数 (百粒/㎡)	葉色 (SPAD値)	葉色 (SPAD値)	葉色 (SPAD値)	葉色 (SPAD値)
移植	田尻 (桜田 高野)	ひとめ ぼれ	本年値	5月10日	7月30日	29.7	81.5	18.2	449.5	57.7	259.4	28.8	28.8	28.8	28.8
			前年値	5月3日	7月26日	27.1	93.0	18.1	450.1	65.2	293.5	29.1	29.1	29.1	29.1
			平年値	5月4日	7月28日	29.7	92.1	18.5	448.7	68.9	308.9	27.1	27.1	27.1	27.1
			前年比・差	+7日	+4日	110%	88%	101%	100%	88%	88%	99%	99%	99%	99%
			平年比・差	+6日	+2日	100%	89%	98%	100%	84%	84%	106%	106%	106%	106%

- ・生育調査ほひとめぼれは、平年より2日、前年より4日遅い7月30日に収穫期に達しました。
- ・平年に比べ、稈長は短くなっています。穂数は平年並みですが、一穂粒数が少ないことから、㎡あたりの籾数は少なくなっています。

3. 刈り取り適期と注意点等について

- ・積算平均気温から算出した刈り取り適期の予測は表3のとおりです。今後の気温によって前後しますので、天気予報を参考に作業計画をたてましょう。
 - ・刈り取り時期が遅くなると白未熟粒、ついで胴割粒や茶米が増加し品質が低下します。
 - ・早期落水は品質低下の原因となります。
- 出穂後 30 日～刈取り10日前を目安に落水しましょう(図1)。

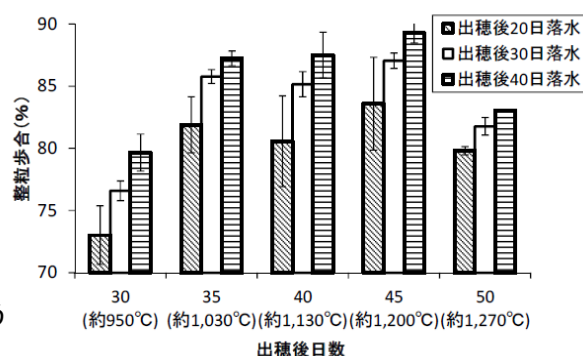


図1 落水時期別の整粒歩合
(出典:普及に移す技術第 91 号)

表3 品種別刈取り適期の予測

品 種	目安となる 積算気温	出穂期				
		7/28	7/31	8/5	8/10	8/15
ひとめぼれ まなむすめ	940℃(早限)	9/6	9/10	9/15	9/21	9/27
	1,000℃	9/9	9/12	9/18	9/24	9/30
	1,100℃(晩限)	9/14	9/17	9/23	9/29	10/5
ササニシキ	930℃(早限)	9/6	9/9	9/14	9/20	9/26
	1,000℃	9/9	9/12	9/18	9/24	9/30
	1,150℃(晩限)	9/16	9/20	9/25	10/1	10/7
つや姫	1,000℃(早限)	—	—	9/18	9/24	9/30
	1,100℃	—	—	9/23	9/29	10/5
	1,200℃(晩限)	—	—	9/28	10/4	10/11
金のいぶき	1,050℃(早限)	—	9/15	9/20	9/27	10/3
	1,100℃	—	9/17	9/23	9/29	10/5
	1,150℃(晩限)	—	9/20	9/25	10/1	10/7

※鹿島台アメダスの日平均気温(8月31日までは実測値、9月1日～9月25日までは気象庁の1か月予報による予測値、9月25日以降は過去5年平均値)から予測。

～刈り取り適期について～

- ・籾の 90%程度が完全に成熟して黄色になり、穂軸が先端から 1/3 程度黄変したときが刈り取り適期です(図2)。
- ・コンバイン収穫作業では、収穫時の籾水分が高すぎると、胴割粒の増加などの、品質低下の原因となります。
(特に倒伏、未熟粒が多い場合は注意)
籾水分 25%以下を目安に収穫しましょう。

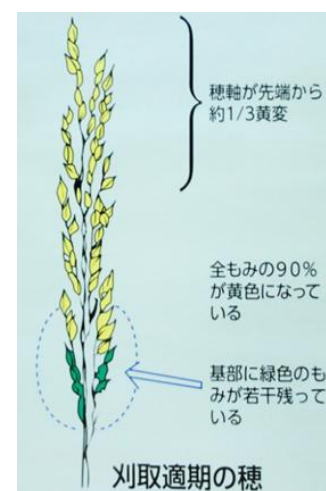


図 2 刈り取り適期の穂のイメージ図

～刈り取りの注意点～

- ・倒伏した稲や水口など成熟期の遅れた稲は、収穫時期や籾袋を別にして乾燥しましょう。
- ・クサネムやツユクサの種子は揺動式比重選や粒径選でも取り除きにくいので、収穫作業前に必ず抜き取りましょう。
- ・鉄コーティング直播、紋枯病が発生しているほ場では倒伏しやすいので、適期に達したら早めに刈り取りましょう。特に今年は、降雨日が多いことから倒伏しやすい状態です。

～乾燥・調製の注意点～

- ・刈り取り後はすみやかに乾燥機に張り込み、送風循環しましょう。
- ・高水分籾を機械乾燥する場合は、品質低下を抑えるため二段乾燥を行いましょう(図3)。
- ・仕上がりの玄米水分は14.5%～15.0%が目標です。
- ・籾摺は肌ずれ防止のため、籾の温度を室温まで下げてから行いましょう。ロール式籾摺機の場合は、籾(品種)に見合った適正なロール間隔に調整しましょう。
- ・異品種の混入を未然に防ぐため、品種が替わる毎に機械類の清掃を徹底しましょう。

◎収穫時の籾水分(平均23%)

乾燥開始	17:00
乾燥機一時休止	22:00
籾水分	約19%
乾減率	0.8%/h

乾燥機一時休止 22:00～
翌朝 7:00

乾燥再開 7:00
乾燥終了 11:00
玄米水分 15.5%

一時貯留槽に排出 11:00～

図3 二段乾燥の一例(山形農試)

～9月1日から11月30日は秋の農作業安全確認運動期間です～
忙しくても安全を一番に！

シートベルト・ヘルメットの着用を徹底！

